

1. 「活用可能な財産の算定」

Table with 2 columns: 項目 (Item), 金額 (Amount). Rows include 資産 (a), 負債 (b), 基本金 (c), 国庫補助金等特別積立金 (d), and 合計 (a - b - c - d).

- Handwritten input boxes with instructions: 手入力 (必須入力) するセルです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」掲載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。), 計算式が設定されており、入力することはできません。 (twice), 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください), 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。 (twice), プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

Table for (1) 財産目録における貸借対照表価額. Row: 合計 (a) 486,670,645

Table for (2) 対応負債. Rows include 1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金, 1年以内返済予定設備資金借入金, 1年以内返済予定リース債務, 社会福祉連携推進業務設備資金借入金, 設備資金借入金, リース債務, and 合計 (b) 21,000,000

Table for (3) 合計. Rows include 財産目録合計 (a), 対応負債合計 (b), 対応基本金 (c) 399,111,473, 国庫補助金等特別積立金 (d), and 合計 (a - b - c - d) 0. Includes note: →第三号基本金 900,000円を除いた金額

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

Large table for (1) 将来の建替費用. Columns include 財産の名称等, 取得年度, 建設時延べ床面積, 建設時自己資金, 大規模修繕実績額, 減価償却累計額, ①建設工事費デフレクター, ②1㎡当たり単価上昇率 (sub-columns: 一般的1㎡当たり単価(a), 当該建物の建設時の取得単価(b), 建設時延べ床面積(c), a/(b/c)), ①、②のいずれか高い方の率, ③一般的自己資金比率, ④建設時自己資金比率 (sub-columns: 建設時自己資金(d), d/b), ③、④のいずれか高い方の率, 合計額. Includes note: ※割合は小数点第4位四捨五入。

Table for (3) 設備・車輛等の更新に必要な費用. Row: 合計 132,256,727

Table for (4) 合計. Rows include 将来の建替費用, 大規模修繕に必要な費用, 設備・車輛等の更新に必要な費用, and 合計 548,986,668

4. 「必要な運転資金」

Table for (4) 必要な運転資金. Rows include 年間事業活動支出, 金額 414,466,192, 月数 12, 合計額 103,616,548

5. 「計算の特例」

Table for (5) 計算の特例. Rows include 年間事業活動支出, 金額 -, 月数 12, 合計額 -

6. 「社会福祉充実残額」

Table for (6) 社会福祉充実残額. Columns: 項目, 金額, 控除対象財産計, 計算の特例適用. Rows include 活用可能な財産, 社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等, 再取得に必要な財産, 必要な運転資金, 計算の特例, and 合計 -289,200,000

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

Table for (7) 現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」. Rows include 社会福祉充実残額, 社会福祉充実計画用財産, and 合計 -289,200,000

(2) 大規模修繕に必要な費用

Table for (2) 大規模修繕に必要な費用. Columns include 減価償却累計額(a), 一般的大規模修繕費用比率(b), 大規模修繕実績額, 合計額①, ※大規模修繕額が不明な場合 (sub-columns: 貸借対照表価額(c), 合計額② ((a×b)×c/(a+c))), 合計額 (①、②のいずれか). Includes note: ※大規模修繕額が不明な場合